

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立大久保小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月21日】

授業作り	重 点	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別指導・ティームティーチング・視覚的な教材提示などの指導体制や方法の工夫及びICT機器・タブレット端末の効果的な活用で児童が分かる授業を展開する。 ・児童の言葉による理解をさらに深めるために、具体物の操作や体験的活動を授業へ積極的に取り入れる。
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を豊かにし、主体的な学習力を高めるために、読み物の本や辞書を身近に置いたり、発表の仕方を掲示したりする。 ・自学する力の伸長を目指して、朝の学習時間や家庭学習、タブレット端末等の活用を共通実践していく。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、片仮名、漢字を丁寧に書くことができるようにする。言葉を文の中で使えるようにする。 ・読書量を増やす。 ・数の概念を理解し、たし算、ひき算ができる。 ・生活経験を生かし活動することができる。体験を振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き順、字の形を意識して書くよう指導する。日記に取り組みさせることで、文の中で言葉を使えるように指導する。 ・教室の本コーナーを充実させる。 ・半具体物や身の回りにあるものを使い、視覚的に理解を深める。デジタルドリルを活用し、反復練習をして定着させる。 ・学習の振り返りは絵や言葉、文字でアウトプットできるように指導する。
2 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> ・国語「書くこと」では、既習の片仮名、漢字の文字を正確に書くことができるようにする。文章で説明を書いたり、考えを書いたりすることを目標とする。 ・算数では計算を確実にし、文章題を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文字、特に片仮名の復習を、宿題を通して定着を図る。 ・ノートや日記を活用して文を書く時に約束を守りながら、書くように指導する。 ・算数では、計算を確実にするためにベーシックドリルやプリントを活用して繰り返し問題に取り組むように指導する。 ・絵や具体物を用いて文章問題の条件のイメージをもち、解けるようにする。
3 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」「説明的文章」に課題がある。個人差が大きく、個別指導が必要である。 ・算数は全体的に課題があるが、特に「時刻の読み方」「式による表現」に課題がある。集団での指導だけでなく個別指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字、新出漢字の定着を図る。 ・自分の考えをもつようにする。 ・説明的文章の読解力を伸ばす。 ・長さや体積は体験活動を通して理解できるようにする。 ・算数は少人数で個別に指導し、個に応じた課題に取り組みせるとともに、問題を解くことに慣れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の学習後、小テストやまとめテスト、復習テストなどを通して繰り返し指導する。 ・ノートを活用し、考えを書くように指導する。 ・文と文のつながり、語と語のつながりや様子の言葉を意識して話したり、書いたりする習慣付けを図る。 ・算数は実感を伴うように体験的活動を常に取り入れ、量感を捉えられるようにする。 ・朝学習でデジタルドリルやプリントを活用

			して、繰り返し問題に取り組むよう指導する。
4 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語では特に「書くこと」「話すこと・聞くこと」の向上が必要である。 ・算数では、各分野での学習形態を習熟度別で行いつつ、個別指導が必要である。特に「時刻と時間」「図形」「応用や活用」「思考、判断、表現」の力の向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く」の基本を繰り返し行う。話し合いや話す機会を作る。 ・「書くこと」は、1週間に1回程度の日記を継続し、助詞や拗音などの表記を自分で見直す習慣をつける。 ・算数では、少人数で個別に指導し、前学年の学習内容を含め、既習事項の確認や復習をしていく。家庭学習でも繰り返し取り組ませる。 ・考えを図にする、式にする、説明する等の授業の流れをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す・聞く時のルールを掲示し、確認する。ペアやグループ学習の機会を作り、話し合う時には、司会の役割などを意識できるように指導する。 ・日記をつけることで学習の振り返りを行ったり、調べ学習では調べたことを書いたり、表現したりすることに取り組ませる。 ・朝学習に復習プリントやデジタルドリルに取り組ませたり、四則計算のミスがないようプリントで復習したりすることで、基礎基本の定着を図る。 ・ペアやグループでの話し合いを取り入れ、自分の考えを構築したり、表現したりする機会を設定する。
5 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「言葉・情報・言語文化」「書くこと」の力の向上が必要である。 ・算数では「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」の力の向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味や説明の趣旨を理解する必要がある。 ・自分の意見を書く、伝える、相手の話を聞く活動を多く取り入れる必要がある。 ・既習の事項を定着させていくために繰り返し問題を解く必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や自分の考えを書く機会を、多く取り入れ、読むことや書くことに慣れさせる。 ・話し方や聞き方のポイントを明確化し、何について話し、聞くのかを再確認する。 ・ペア発表を基本として、多くの友達と交流する機会を学習に取り入れ、活発に意見の発表をさせていく。 ・復習プリントやデジタルドリル等を活用し、既習事項の定着を図る。その際には必要に応じて前学年の学習にも取り組む。
6 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「言語」の力の向上が必要である。 ・算数では「数と計算」において課題が残るため、重点的な指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味について理解し、より多くの語彙を獲得する必要がある。 ・自分の考えを話す、相手の話を聞く活動を積極的に取り入れる必要がある。 ・小数、分数の計算問題の習熟、文章問題を確実に読み取る力を伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読する機会を増やす。国語辞典と漢字辞典を常時携帯し、語彙調べ等で辞書を活用する。学習内容と関連のある本の読書活動も積極的に行う。 ・朝学習や国語の時間を活用し、書く活動の日常化を図る。 ・朝の会のスピーチやペアトーク、小グループでの話し合いの機会を多く設け、聞くことの徹底を図る。 ・計算プリントやデジタルドリルなどを活用し、基礎基本の定着を図る。また、文章問題において、意図に沿った回答ができるように繰り返し取り組ませる。